



だれもが暮らしやすい社会について考えよう

藤井寺市立道明寺東小学校

教科	道徳	単元名	ともに生きる社会の実現をめざして
----	----	-----	------------------

本単元で育む主な情報活用能力

**G-STEP 2, C-STEP 1
D-STEP 2**

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- (教科等でつきたい力)
- ・障がいのある人などの人権を守ろうとする意識をもち、行動につながる。
- (学校図書館等の活用でつきたい力)
- ・図書資料をもとに知りたい情報を収集し、まとめる。

単元における学習の展開（全4時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○身のまわりにある障がいに関する様々なマークについて知り、どうしてそのようなマークが必要なのかを考える。 ・よく見るマークや馴染みのないマークなどを見せて、興味をひかせるようにする。
第2次 (2時間)	○障がいのある人たちが、身のまわりの生活でどんな困り感があるかを想像し、自分ができる手助けについて考える。 ・実際に自分がよく行く場所などを想像させて具体的に考えさせるようにする。 ○図書資料から、障がいのある人たちがどのような思いで日常生活を送っているのか知ったり、手助けの具体例を調べまとめたりする。 ・図書資料やインターネットを使って、調べる。(☆) (本時)
第3次 (1時間)	○障がいのある人たちのことを調べ、考えたことを交流する。

本時のねらい

- ・図書資料を使い知りたい情報を収集し、どんなことができるかを具体的に考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 自分が調べる障がいについて確認する。 ・「目が不自由な人」「耳が不自由な人」「車いすの人」「義手義足の人」など、どのようなことに困っているかの自分の予想をもとに、図書資料等で調べる。	・調べる内容にズレが生じないように、何を調べかを確認する。
展開 (35分)	2. 学校図書館の図書資料を使って調べ、ワークシートにまとめる。 ・必要な部分を箇条書きにまとめる。 ・友だちと話し合いをしながら、情報の整理をする。 ・ワークシートに道路・階段・スーパー・駅や電車・バス・家の中で、困っていると思うことや自分にはどんなことができるかを調べて書く。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・事前に図書館司書と相談して、障がいに関する資料を集めることで授業が円滑に進めるようにする。図書資料で不足がある場合は、インターネットを使って調べる。 </div> ・必要な情報を選ばせるようにする。 ・内容は「目が不自由な人」「耳が不自由な人」「車いすをつかっている人」「義手や義足の人」が困っていることを中心に調べるようにする。
まとめ (5分)	3. 次時の説明をする。 ・次時では調べてわかったことや考えたこと、自分たちができていることを交流することを伝える。	・図書館の本を使って調べて分かったことをもとに、場所や相手の様子に応じて、自分たちができていることを次時で交流するように伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・はじめに身近にある障がいに関するマーク（ピクトグラム）を紹介することで興味を持たせた。
- ・予想をしてから調べることで子どもたちの変容を見取ることができる。
- ・内容を分けて調べ、最後に交流することで、障がいについて幅広く考えることができた。
- ・「障がいに関するマーク」だけでなく、「マタニティマーク」や「シルバーマーク」などについても調べることで、幅広く考えるようにした。
- ・「障がいに関するマーク」という名前も自分たちで考えさせることで（例えば「手助けお願いしますマーク」など）意欲を持って調べることができるようにした。
- ・「自分たちのクラスだけでなく、ほかの学年の人たちにも見てもらおう。」と声をかけておくことで、調べ方やまとめ方を工夫する姿が見られた。



図書館資料を使って、調べている場面